

Mマガジン・サポーター(店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式ウェブサイトにてご確認ください)

●公共機関

- 区役所
会館
郵便局
放送局

- 中原区役所5Fなかはらっぱ
川崎市国際交流センター
川崎市生涯学習プラザ
かわさき市民活動センター
川崎井田郵便局
川崎ブルーメン通郵便局
川崎木月郵便局
川崎木月大町郵便局
かわさきFM

●元住吉西口(プレーメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- 音楽教室
花屋
鉄板焼
ヘアサロン
カフェ
果物
パン
コーヒー専門
イタリア料理
カイロ、整体
音楽教室
コインランドリー
理容室
接骨院
ヘアサロン
デザイン制作
カフェ
時計・貴金属

- SouleaveMusic School
Bianca
ゆうき亭
キャメルヘアーデザイン
水谷珈琲
フルッコ
リップル
MUI
オステリア ボッカーノ
ABCカイロプラクティック
島倉 学ミュージックスクール
マンマチャオ元住吉店
Hair Salon Airs
井田名倉堂・栗山接骨院
波照間
アルケファクトリー
フォレストコーヒー
つだとけいてん

●元住吉東口(オズ商店街通り)

- サンドウィッチ
介護センター
お茶
鍼灸院
介護センター
古本・CD
調剤薬局
飲み喰い処
イタリア料理
STEAK
カフェ
Gステーション

- ベトナムウィッチThao
みずたま介護ステーション元住吉
金子園
和式整体&整心の「響氣」
ツグイ
凸つと凹つと
綱島街道薬局
粋い仙ん
自在屋
ステーキグラム元住吉店
cafe OrangeBlue
ENEOSダイヤ商事

●元住吉近郊

- 喫茶室
武蔵小杉近郊
喫茶店
喫茶店
紅茶専門店
東横線沿線
調剤薬局
写真
レストラン&バー
調剤薬局
カフェレストラン
ジャズ喫茶

- シンフォニー
Cafe TEMO(テモ)
Coffee Spot Life(ライブ)
Tea House ローズマリー
駒沢通り薬局
PHOTO SHOP 銀嶺
Public House ぴあにしも
オレンジ薬局川和町店
カンファ-ツリー
マシュマロ

※上記サポーター記載は無料です。

M MAGAZINE 発行人 塚田親一 発行音楽好きな友の会 〒211-0025 中原区木月1-35-1フルッコ2F TEL 090-9398-2889 2018-9-15-800 PrintingRK

M MAGAZINE

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories
後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会
公益財団法人 川崎市国際交流協会
人形劇団ひとみ座 / rk-factory

元住吉の気軽な音楽会



October
2018 10月号

10月 7日(日) 13:30~
10月21日(日) 13:30~
音友レコード倶楽部
フルッコ2F 音友ハウス

10月9日(火) 12:10~
ランチタイム・ロビーコンサート
川崎市生涯学習プラザ

10月27日(土) 13:00~
留学生と交流する会
川崎市国際交流センター

10月28日(日) 13:00~
イダナカ・ハロウィン
~M~フェスティバル
井田中ノ町商店街(中程)

10月28日(日) 18:30~
くじら座アコースティック・
ライブin音友ハウス

ママのおひざで聴く
ヴァイオリンコンサート
10月24日(水) 14:30~
フルッコ2F 音友ハウス

10月24日(水) 19:00~
かののかい
フルッコ2F 音友ハウス



【サクソフォーン】1840年代にベルギーの管楽器製作者アドルフ・サククスによって考案された。Saxophoneの名は彼にちなむ。元々吹奏楽団における木管楽器と金管楽器の橋渡しを目的に開発された。構造上、木管楽器に分類されるが、真鍮を主とした金属で作られており、木管楽器の運動性能の高さ、金管楽器のダイナミックレンジの広さを兼ね備えている。新しい楽器の恩恵として、洗練された運指、発音の容易さは他の吹奏楽器に類がない。クラシック音楽からポップス、ロック、ジャズに至るまで、様々な分野の音楽で用いられる。(ウィキペディアより)

M MAGAZINE 2018 OCTOBER ISSUE

田島華乃のお知らせ

ママのおひざで聴く
ヴァイオリンコンサート
10月24日(水)

開催時刻: 14:30~15:30
子供たちにこそ本物の音楽を、
0歳から聴く、本格ヴァイオリンコンサート
ちび楽器もさわれます!
コンサートの前後はちびバイオリン体験コーナーです。
★参加費 親子1組:2,500円(追加1名1,000円)
★フルッコ1階窓脇に自転車、ベビーカー駐輪可能



●お問い合わせ・お申し込み
音の家otonoya

kano.otonoya@gmail.com
会場:音友ハウス
元住吉駅西口徒歩1分、「フルッコ」2F

●田島華乃
桐朋学園大学音楽学部を卒業。
別府アルゲルチ音楽祭、
第44回小野アンナ音楽祭、
全日本芸術音楽コンクール第2位。
室内楽や都内の
オーケストラで活動中。

田島華乃の生演奏&気軽なトーク

第6回 かののかい



◎日時:10月24日(水)
開場:18:30/開演:19:00~
◎料金:投げ銭
◎会場:音友ハウス
フルッコ1階窓脇に自転車、ベビーカー駐輪可能
東急東横線元住吉駅西口徒歩1分
川崎市中区木月1-35-1 フルッコ 2F
◎演奏&トーク:田島華乃
10月生まれのクラシック作曲家の曲を中心に演奏します。
今回も私が取り組みたい曲を、聴きにきて下さった
皆さんと共有できたら嬉しく思います。
そんな私と共演者のアンサンブルや、
そのやり取りをお楽しみいただけます。

親子向けコンサート「ママのおひざで聴くヴァイオリンコンサート」で元住吉にて活躍中の田島華乃が「クラシックや映画音楽や絵本とのコラボなど、様々な角度から音楽や人生と向き合う会」を企画しました。
参加料金は、共演者やお客様とのおしゃべりを交えながら、のんびりとした投げ銭です。「かののかい」とあるように、半ば私自身の探究する為の会でもありますので、皆様からいただいた投げ銭は、共演者の方への御礼とさせていただきます。かといって、自己満足にはならぬよう、謙虚な姿勢で開催する所存です。
フルッコ2階の「音友ハウス」へ立ち寄ってみてください。(田島華乃)

川崎市国際交流センター



留学生と交流する会

10月27日(土) 13:00~15:00 参加費:無料
留学生と交流できるイベント。留学生によるグループ発表や楽器演奏、伝統舞踊などのパフォーマンスを予定しています。
申込方法:住所、氏名、電話番号、メールアドレスをお知らせください。

●お問い合わせ
(公財)川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
FAX 044-435-7010
E-mail:kawasaki@kian.or.jp
川崎市中区木月1-35-1
元住吉駅から徒歩10分

音友ハウス 元住吉駅西口徒歩1分、フルッコ2F

元住吉の気軽な音楽会・街角路上投げ銭ライブ/場所:井田中ノ町商店街
イダナカ・ハロウィン~M~フェスティバル
10月28日(日) 13:00~15:00(予定)(雨天中止)
場所は元住吉駅西口から徒歩10分、お菓子屋さん何軒もある井田中ノ町商店街の中程。アコースティック楽器&ヴォーカル演奏による街角路上投げ銭ライブ~Mフェスティバル~の開催します。
参加ボランティアアーティスト募集
夜は引き続き!元住吉の気軽な音楽会
くじら座アコースティック・ライブin音友ハウス
10月28日(日) 18:00(開場) 18:30~21:00(予定)
場所は元住吉駅西口から徒歩1分!フルッコ2階の2階「音友ハウス」!!
参加費:¥1,500(高校生以下無料)
お問い合わせ:くじら座
Email:kujirazarecords@gmail.com



川崎市生涯学習プラザ

第70回 ランチタイム・ロビーコンサート
10月9日(火) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定/料金:無料
どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート

●出演:
ハーブ&グループKM
●プロフィール:
ハーブ:小林秀史(ハーブ王子)
フルート:三田純子
●曲目(予定):
・アルルの女よりメヌエット
・浜辺の歌
・いつも何度でも他



●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団
総務室企画情報係
ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5811
E-mail:concert@kpal.or.jp
川崎市中区今井南町28-41



「音友会」の活動拠点は
元住吉駅西口徒歩1分、
フルッコショップ「フルッコ」2F。
音友ハウスです。

音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/
090-9398-2889(担当:塚田)



歌が人生を変える
音楽は決して貴方を裏切らない
驚くほど歌い方が上達する
「島倉 学メソッド」

島倉 学ミュージックスクール
プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
30分無料体験レッスン実施中!
【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106F)
【お問い合わせ】
島倉音楽事務所
代表 島倉 学
営業日:火曜~土曜 12:00~21:00
定休日:日曜・月曜
TEL 044-567-5940
Mail: info@ms-musicschool.com
HP: http://www.ms-musicschool.com/

連載25 私とジャズ 松波陽介 言葉と音楽



▲鼻歌のようにソノをインプロバイズする Wayne Shorter

にしている可能性もありますが笑)改めてここで感謝を述べたいと思います、毎度ご鼻頂のほどありがとうございます。

今回は表題の通り、言葉と音楽という事で言葉がいかにして音楽に反映されるのか、という事と様々な言語と日本語の比較という事を思いのままにお話ししていきたく思います。私自身特に言語学等々の学術的なレクチャーは受けた事は御座いませんので、飽

くまで主観に頼るところが多いので悪しからず、と言ったところで御座います。

今に始まった事ではないですが、ここ最近では街に繰り出したりすると様々な言語が聞こえてくるという機会が増えてきたと思います。また様々な業種でも外国人の店員さんも増えてきているという事もよく見る光景になりつ

つあります。実は私の職場にも外国人の留学生がスタッフとして入ってきました。日本語の指導をしながら接客を教えたりしています。そこでふと彼が「どうして日本語は(語尾が)長くなるのでしょうか?まあ、可愛らしいけどなんか変な感じがする」という事を話してきました。なるほど、普段は全く意識していなかったのですが、たしかに日本語の語尾は「あ行」や「う行」で終わる事が多いし、その語尾が伸びてなんとなくだらしない感じがする、という事を考えさせられました。そしてその事と関連して、日本語の鼻歌と海外の鼻歌の事に関して少し考えました。あくまでもイメージですが、日本人が鼻歌を歌う場合は「ら〜ら〜ら〜」や「る〜る〜る〜」と言ったようななんとなく母音が伸びているような歌い方をしているなど感じました。一方外国人の鼻歌は「ティティティ」や「トウトウー」と言った感じ

でなんとなく歯切れの良い感じの歌い方をしているな、という事を感じました。普段の話しかからうも音楽的な事にも影響しているのか、という事を改めて考えさせられたと同時にリズム感やビート感というのが如何に普段の生活から影響を受けているのか、という事を考えさせられるきっかけになった瞬間でした。

またこの事をきっかけに言語や生活などが音楽にどのような影響を与えるのかという事を今後考えたり検討して生きたい材料だなと感じましたので、機会の折にお話ししたいと思います。

今年の夏は暑かったですね〜。と言っても、これを書いている今はまだ暑い真っ最中なんです。毎日、キツイです。読んでいただいているのは9月後半でしょうか?もう、過ごしやすくなっているのかな?さて、先日、ユニバーサル・ミュージックより、ウェイン・ショーターの新譜発売の発表がありました。驚きですね。確か、もう80歳を超えているはずですよ!凄

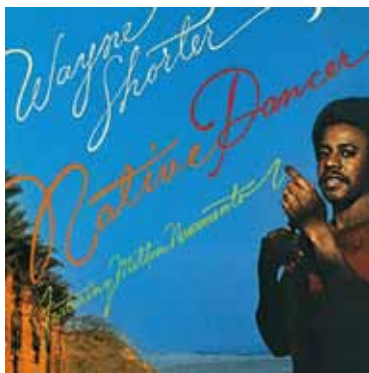


▲全編を通して鼻歌を歌うかのように演奏しているSonny Rollinsのアルバム

連載22 4ビートに首ったけ

地元マスターのジャズ談話 BIANCA店主 長谷部 徹

今でも現役! 生きるレジェンド、若き日の野心的なアルバムを聴いてみましょう。



▲① Native Dancer/Wayne Shorter

で活躍してきたようです。本当に素晴らしいですね。 ウェイン・ショーターと言えば、暑い日にピッタリのアルバムが1枚あります! (←だから、配布されるのは、もう秋だと言っているの

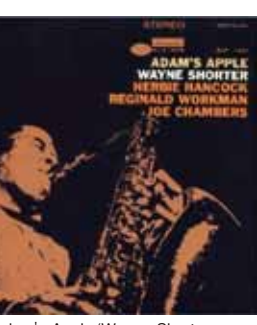
す。そこに気急いリズムと伴奏が加わり、ショーターの時間が止まったようなソプラノ・サクソに続いていきます。のんびりした南国的な1曲ですね。3曲目「Tarde」もお気に入りです。ゆったりとした空気感に脱力したサクソソロがマッチしています。また、4曲目「Mirade Of The Fishes」では軽快なリズムにのせて物語を語るようなボーカルで、6曲目「From The Lonely Afternoons」では軽快なグループ感のスクワットでミルトン・ナシメントがその魅力を十分に発揮しています。どうでしょう、暑かった夏を思い出して、南国の風に吹かれてみて下さい。

いのですが、特にお勧めはまず1曲目「Adam's Apple」。50年代ハード・バップの香りを残しつつ、新しい時代に1歩踏み込んだような曲で、ハービー・ Hancockのピアノがメチャメチャカッコイイです。次に4曲目「Footprints」もかなりイカしています。怪し気なテーマから始まり、太々しいショーターのソノの後、ハービーのソノが素晴らしい。メリハリと言うより、永遠に広がっていくような演奏です。このアルバムではハービー・ Hancockが重要な役割を担っている事は言うまでもありません。

この後、この2人はそれぞれの方法でジャズシーンを何10年間もリードすることになります。当時の2人はそんな事になると想像していたのかな?彼らが残してくれた素晴らしい演奏をありがたく楽しむとともに、まだまだ輝き続けて欲しいと願うばかりです。

に!) 1974年録音の「ネイティブ・ダンサー」(写真①)です。このアルバムはブラジルのアーティストであるミルトン・ナシメントと一緒に、ジャズとブラジル音楽の融合を目指したような内容です。他にもハービー・ Hancock(p)、アイアート・モレイラ(prc)などの実力派も参加しているのですよ。1974年と言えば、クロスオーバーとかフュージョンの全盛期ですね。ショーター自身もこの時期ウエザー・リポートでジョー・ザビヌルやジャコ・パストリアス達と新しい音楽をどんどん作っていました。だからブラジル音楽との融合も、自然なものだったのでしょう。

まず、1曲目「Ponta De Areia」から良いですね。いきなりミルトン・ナシメントのフルセットボイスによる印象的なテーマから始まりま



▲② Adam's Apple/Wayne Shorter

Jazz & Light Music 音友レコード倶楽部Report

音友会Report 2018年8月音友会

夏らしく涼しい音楽を……「軽音楽(Light Music)」の日」

夏の熱波が甲子園開催の高校野球の影響が今回の参加者は前回と比較すると、非常に寂しいものとなりました。それにめげず、今回、私が参加してから初めてタンノイ(パークレー) + ティアックの4スピーカーシステムでフルサウンドの音響を聞かせていただきました。トップ・バッターはボビー・ハケットの「Coast Concert」(写真①)より「アイ・ウォント・ア・ビッグ・バター・アンド・エッグ・マン」が流れました。このアルバムは名トロンボーン奏者ジャック・ティエーガーデンと組んだトラッド・ジャズの名盤とい

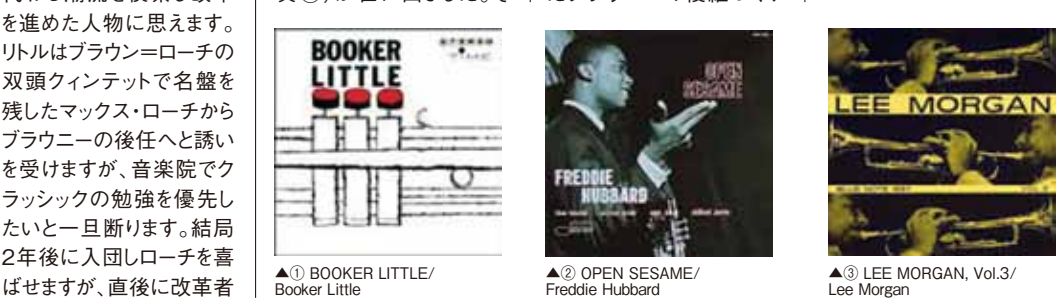
事です。次は夏らしくアントニオ・カルロス・ジョビンがCTIレーベルに残した曲の中から「イパネマの娘」(写真②)と「波」(写真③)でストリングス等のアレンジはそれぞれ「エミール・デオダート」、「クラウス・オーガーマン」が担当しています。また、名ドラマーであるハービー・メイソンに見いだされ、同じCTIレーベルでデビューしたハイウェイのロックグループ、シー・ウィンドが2008年再結成時に発表した「Reunion」(写真④)から「ヒー・ラブス・ユー」、「ケプト・バイ・ユア・パワー」、「サンシャドウ」の3曲を連続して聴きました。1曲目にはつい最近亡くなられたアル・ジャロウがスクワットでゲスト参加しているのも、嬉しい限りです。また、当時オーディオメーカーが店頭で良い音を聞かせるために制作されたデモンストレーション用のオリジナル2tr38cmテープからCD盤にした音源の中から北村英二&増田一郎&ティ・ウイリソン、そして販売されていた2tr38cmでジョー・大塚トリオ、バーニ・ケッセルも聴きましたが、オリジナルの2tr38cmテープも機会があったら聴きたいものです。先程のボビー・ハケット



▲① Coast Concert/Bobby Hackett ▲② Tide/Antonio Carlos Jobim ▲③ Wave/Antonio Carlos Jobim ▲④ Reunion/Seawind ▲⑤ PLAYS STANDARD/THE GREAT JAZZ TRIO

Jazz Date 生誕80周年を迎えた同年生まれの3人のトランペッター

夭折・早世したトランペッターでは、ブッカー・リトル23歳、クリフォード・ブラウン(通称ブラウニー)25歳、ファッツ・ナバロ26歳、リー・モーガン33歳の名があげられます。JAZZ DATE #121は上記リトル、モーガンにフレディ・ハバートを加えた3人のトランペッターの特集でした。ともに1938年生まれで今年生誕80周年を迎えました。ブッカー・リトルとフレディ・ハバートはハード・バップに代わる潮流を模索し改革を進めた人物に思えます。リトルはブラウン=ローチの双頭クインテットで名盤を残したマックス・ローチからブラウニーの後任へと誘いを受けますが、音楽院でクラシックの勉強を優先したいと一旦断ります。結局2年後に入団しローチを喜ばせませんが、直後に改革者



▲① BOOKER LITTLE/Booker Little ▲② OPEN SESAME/Freddie Hubbard ▲③ LEE MORGAN, Vol.3/Lee Morgan

Essay 「くじら座」日記 牧野くみ

團伊玖磨さんという作曲家

以前、「夏休み」をテーマにした自身のライブの内容を考えていました。そのうちにオリジナル曲だけではなく誰しもが知っている曲をやりたいと思立ち、「ラジオ体操第一・第二」のピアノ演奏に挑戦してみました。日本人なら誰もが一度は聴いたことがあるであろう有名な曲ですが、初めて楽譜を目の前に置き自分の手で演奏することで、今まで聴くだけではわからなかった楽曲の構成が見えてきて非常に面白かったです。複雑な構成こそありませんが、途中で早くなったり遅くなったりとテンポが大きく変わる緩急の付け方、自然な転調、第二に至っては4拍子から3拍子へと変化し俗にいう「プログレ(変拍子などを用いた、既存の概念にとらわれない前衛的な音楽)」を彷彿とさせる箇所も…(笑)。簡単に聴こえる楽曲も、こんなに緻密に作られていたんだと、しみじみ感動してしまいました。ところでラジオ体操第二は、「ぞうさん」「やぎさんゆうびん」などの童謡を作曲した團伊玖磨(だんいくま)さんだということをご存知でしょうか?團さんの作品は、これらのように私たちの生活に馴染みの深い曲もあ



▲和装のくじら座、左から牧野ケント、牧野くみ

Essay Addicted to Guitar-6 永瀬 晋 強敵コードF!?

お世話になっております。今月またギターを始めたい方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。記事を書いている現時点ですとまだまだ暑いですが苦笑、すっかり秋になっていることでしょう。秋といえば仕事、趣味など新しいことに挑戦する方も多いと思います。というわけで今回はギター

ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 AM8:00/PM22:00start

10月7日の軽音楽 オーリアンズの知られざる名盤

「ダンス・ウィズ・ミー」の大ヒットで知られるジョン・ホール率いるオーリアンズ。彼らの幻のセカンド・アルバム(日本・ヨーロッパのみ発売、本国アメリカでは未発売)を聴いていきます。

10月21日のJazz Date

1. クルト・ヴァイル特集 プレヒトの戯曲「三文オペラ」の挿入歌「マック・ザ・ナイフ」を作曲したクルト・ヴァイルが遺したジャズの名曲を辿ります。
2. ザ・レスター・ヤング ストーリー(前編) ジャズ史上稀にみるクリエイターの1人と云われたプレズ(プレジデント)ことレスター・ヤングの絶頂期を聴いてみましょう。